

(別紙)

福島第一原子力発電所 海水中の Pu 分析結果

1. 採取場所：福島第一原子力発電所 1～4号機取水口内北側
2. 分析機関：日本分析センター
3. 測定結果：

(単位：mBq/L)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239, Pu-240
1～4号機取水口内北側	9/12	N.D. [$<4.8 \times 10^{-1}$]	N.D. [$<4.8 \times 10^{-1}$]

[]内は検出限界値を示す

4. 評価：

今回測定した試料からは Pu-238, Pu-239, Pu-240 は検出されなかった。

以上

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果

別紙

(データ集約：9/29)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成23年8月15日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	300	5.0	60
Cs-137 (約30年)	280	3.1	90
H-3 (約12年)	680	0.01	60,000
全	ND	-	-
全	800	-	-

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 I-131, Cs-134, Cs-137については、8月16日公表。

(評価)

H-3, 全 核種が検出されており、今回の事故による影響と考えられる。